日赤和歌山 健康だより

ご自由にお持ちください
Vol.71
（夏号）
2016年7月発行

和歌山医療センター　発行責任者　管理局長　宮本明典［編集］企画課

日本赤十字社

当センターの乳がん治療

乳腺外科部副部長
畑　和仁（はた　かずひと）

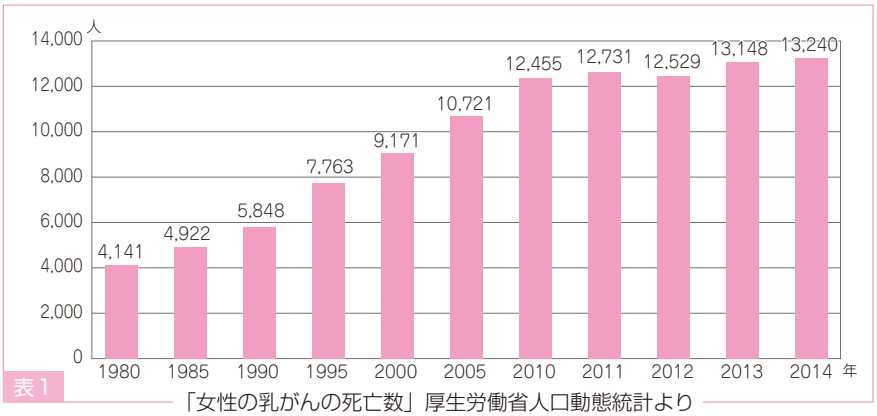
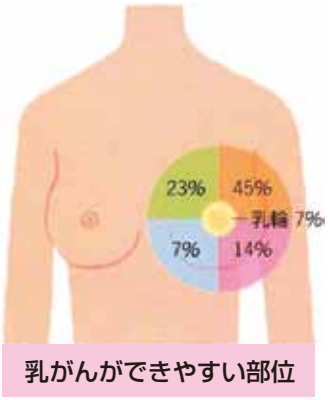


表1　「女性の乳がんの死亡数」厚生労働省人口動態統計より

欧米では乳がんの罹患率、死亡率が減少傾向にあるものの、日本では依然として上昇傾向が続いています。いまや12人に1人が乳がんにかかっており、厚生労働省人口動態統計によると、平成26年の乳がんが原因の年間死亡数は1万3千240人にものぼります（表1）。

【乳がんと症状】

乳がんとは、母乳を分泌する細胞、あるいは乳頭までの母乳の通り道である乳管の細胞が悪性化したものです。乳がんの症状のうち90％以上は痛みを伴わない乳房腫瘤です。一部の乳がんでは、乳頭から血液の混じった褐色から黒色の分泌液症状を認めることがあります。通常、乳がんと痛みには関連がないと言われています。しかしながら、乳腺症を併存している場合には乳腺症による痛みがあるので、まれに乳房痛を心配され受診したところ乳がんが見つかるという人もいます。特に片側だけに痛みとしこりがある場合は注意が必要です。



乳がんができやすい部位

最近、乳がんの発症リスクへの関心が高まっています。日本乳癌学会の『乳癌診療ガイドライン』で乳がんの発症リスクの因果関係が認められている喫煙、飲酒などについては控えていただくよう指導することもありますが、食事についてはバランス良く食べるように心がけていただています。特定の食品やサプリメントの摂取は推奨していません。また、遺伝的な疑問や不安などを解消するために、遺伝カウンセリングも行っています。

【早期発見のためには】

乳がんを早期に発見するためには、まず月に1回、自分自身で乳房を触って、硬いしこりが無いか確認してください（生理がある場合はホルモン変化により乳腺が張る場合があるので、その前後を除いた期間に行います）。乳がんは、内臓や骨にできるがんと違い身体の表面である乳房にできるので、ご自身で触診することで発見できる可能性がある数少ないがんです。触診でしこりを見つけるヒントとしては、メロンパンを押すと中に消しゴムが入っているような強い弾力性のある感じや、こんにゃくに黒豆が入っているようなコリコリした感じが目安です。しこりを認めた場合には必ず検査を受けていただくことをお勧めします。

【乳がんの検査】

一般的な乳がん検査では、触診、マンモグラフィー（X線撮影）、乳腺エコー（超音波）検査等が行われます。

しかし、検査にも限界があります。乳房内の脂肪組織が少ない乳房をデンスブレストと呼び、全世界の女性10人に4人がこのタイプですが、中でもアジア女性はその割合が高く、80％の女性がデンスブレストであるとの報告があります。デンスブレストの乳房をマンモグラフィー検査をした場合、乳腺組織も腫瘤（しこりや、がん）も白く描写

マンモトーム

マンモグラフィー

MRI

されるため、雪山で白うさぎを探すことに似ていると比喩されるほど、発見が困難な場合があります。

当科ではそのような場合でも正確な診断を行えるように、マンモグラフィーだけでなく、より画像精度の高いMRIを積極的に用いて乳房内精査を行っています。加えて、乳腺超音波認定技師と乳腺エコー検査画像を精査するカンファレンスを行うことにより、見逃しがなくなるように努めています。それ以外にもマンモグラフィーやMRIの画像検査で異常を認めた場合には、積極的に細胞組織を採取して病理診断（組織診）による確定診断を行っています。

場合によってはマンモトームといった機器を用い、針で細胞を吸引採取する検査を行うことで、エコー（超音波）画像では判断しにくい石灰化した（細胞にカルシウムが沈着する現象で、乳がんの可能性がある場合がある）細胞の診断を行い、良性か悪性かの判定を行っています。そして、針生検（病理組織診断の1つ）を施行した全ての症例について、病理医、放射線医と病理画像診断カンファレンスを行っています。このように各分野の専門医や認定技師とカンファレンスを行うことで、より精度の高い診断につなげています。また、乳がん看護認定看護師による専門外来なども設け、患者さんへの質の高いケアにも力を注いでいます。

そして、組織診断で乳がんと診断された場合には、ホルモン剤が効きやすいタイプの乳がんなのか、抗がん剤に再発予防効果が期待できるタイプなのかなど、どんな特徴をもった乳がんなのかを判定します。

【治療に関して】

そして、それぞれの特徴に適した治療を行うに当たり、患者さんがどのような治療や生活スタイルを望まれているかご希望を伺った上で、手術の方法や手術前後の化学療法などの治療方針を総合的に定めています。

手術に関しては乳房切除、乳腺部分切除を中心に行っています。最近では、非浸潤性乳管がん、早期乳がんに対して皮下乳腺全摘手術を行った後、形成外科と連携してティッシュ・エキスパンダーという皮膚拡張器とインプラント（シリコン製人工乳房）を用いた乳房再建手術も行っています。現時点で、この乳房再建手術は再発リスクが少ない場合にのみ行っています。ご自分のお腹や背中の脂肪、筋肉を用いて乳房の形を新たに再現する自家組織を用いた乳房再建に関しては、そのような再建手術を得意としている病院に紹介させていただいています。

乳がん手術により乳房の形が変わることに強い不安を抱かれる場合、乳房再建手術に目が向きがちですが、「乳がんは、生命を脅かす病気である」ということを患者さんにきちんと理解していただけるよう説明し、チームで協議し、その上で治療方針を決めて行くことが重要であると考えています。

【最後に】

早期発見、早期治療ができると、乳がんの進行度（ステージ）がⅢ期までの場合は完治を目指した治療が行えます。進行度がⅣ期以降でもオーダーメイドの最適治療で身体的にも精神的にも負担の少ない治療を提供したいと考えています。そのために当センターでは、専門職種のスタッフが集まって、最適な診断治療を行える体制を整えています。多職種によるチーム医療により、より正確な診断を行い、患者さんの病態・状況をスタッフ全員が把握することで、より最適な治療を提供できると考えています。

今後も積極的に新しい治療を取り入れ、納得いただける医療を提供していきたいと考えています。

リサーチ! 検査で分かる病気④

貧血が分かる検査

「貧血」という言葉は、良く耳にすると思います。貧血は腕などの静脈から採血をして、血液中の赤血球の数やヘモグロビン（血色素）の濃度などを検査することにより分かります。

ヘモグロビンというのは、赤血球の中に含まれているタンパク質で、酸素と結合して体中に運ぶ役割を持っています。赤血球やヘモグロビンが減ると体に酸素が行きわたらなくなり、めまい、息切れ、顔色が悪いなどの症状が現れます。

ヘモグロビン濃度が13g/dL以下になると貧血傾向であると言えますが、性別や年齢、妊婦など対象者によって基準が少しずつ違います。

また、血液検査にMCV、MCH、MCHCという項目があります。これらは赤血球恒数といって「赤血球の大きさ」や「ヘモグロビンの量」を平均した値であり、貧血を分類するための数値です。

赤血球の大きさを平均したMCVの値は、表１に示したように基準値より大きいか小さいかによって貧血を分類することができ、貧血の診断や治療に役立ちます。また、その他の貧血に関連した検査の基準値を表２に示しています。

ゆっくりと進行するタイプの貧血は、自覚できる症状が少ないため発見が遅れることがあり、注意が必要です。黒い便が出るなどといった消化管からの出血や、女性の月経過多や不正出血など明らかな出血を認める場合、出血がなくても、ふらつき、めまい、息切れ、顔色が悪い、疲れやすいなどを感じた場合には、貧血になっている可能性があります。このような自覚症状のある場合には、早い目に受診して血液の検査を受けることをお勧めします。

表1 赤血球恒数（MCV）による貧血の分類（代表的なもの）

MCV＜基準値	■鉄摂取量不足などによる鉄欠乏性貧血 ■慢性の感染症・慢性炎症・悪性腫瘍などに伴う貧血
MCV＝基準値	■急激に出血をした場合の貧血 ■何らかの原因で赤血球が壊れやすくなる溶血性貧血 ■血液が作られなくなる再生不良性貧血 ■血を作る骨髄という臓器の疾患（造血器腫瘍） ■その他、様々な病態や疾患による貧血
MCV＞基準値	■ビタミンB_{12}や葉酸の欠乏が原因となる巨赤芽球性貧血

表2 貧血に関連した検査の基準値

赤血球数	RBC	男：430万～570万/μL 女：380万～500万/μL
ヘモグロビン濃度	Hb	男：14～18g/dL 女：12～16g/dL
ヘマトクリット値	Ht	男：40～52% 女：34～45%
赤血球恒数	MCV	男：83～101fL 女：79～99fL
	MCH	男：28～35pg 女：26～34pg
	MCHC	31～36%

乳腺疾患のトータル・ケアを提案しています。

日本では乳がんが年々増加し、女性がかかる癌の第1位になっています。

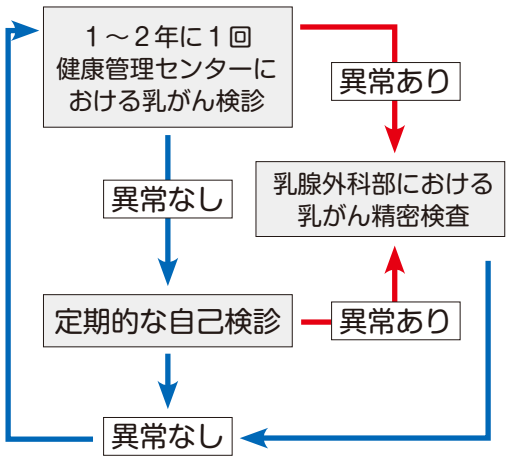
当センターでは、乳腺外科部と健康管理センターが連携し、乳がんの検診サイクルをはじめとする乳腺疾患のトータル・ケアを提案しています。

検診サイクルとは、1～2年に1回専門医療機関での乳がん検診と定期的に自己検診を行うことで乳がんの早期発見を目指し、異常が疑われる場合には乳腺外科部で精密検査を行う流れのことです。

一般的に乳がん検診は視触診検診とマンモグラフィのセットですが、20代～30代の方は特に乳腺が発達しており、マンモグラフィ画像だけでは腫瘤を見つけることが難しい場合があります。乳腺や腫瘤の中の状態、広がり具合まで詳細に検査できる乳房超音波検査を希望により乳がん検診に追加できるようになりました。

生活習慣病健診や人間ドックとの組み合わせ以外に、乳がん検診のみの申し込みも受け付けていますので、気軽にご相談ください。

乳がんから自分を守るための検診サイクル



乳がん検診をご希望の方は
健康管理センター乳がん検診係：073-422-4171
（予約受付時間14:00～17:00）までご連絡ください。

熱中症を予防する水分補給！

医療技術部・栄養課
管理栄養士
川本　智尋

いよいよ夏本番、昼夜を問わず汗をかきやすい季節です。汗をかくのには、体温調節という重要な役割があります。汗の成分の大部分は水分で、その他ナトリウム、カリウムなど、体内の水分量を一定に保ったり、筋肉や神経のはたらきに関わる電解質で構成されています。これらは血液から作り出されていて、血液中の血漿という液体成分が汗としてだされます。

汗を多くかく夏場は、水分とともに体内の調整役である電解質も排泄されてしまいます。もともと人間は、尿や便、呼気などによって、1日に約2.5Lもの水分を失います。多量に汗がでると体内の水分量が不足し、発汗できなくなって、体温調節がうまくできなくなり、熱が身体にこもって「熱中症」につながることがあります。

熱中症は、気温や室温が高い環境下で、体内の水分や電解質のバランスが崩れ、体温調節や発汗の機能が低下し発症します。体温上昇、めまい、倦怠感、意識障害など様々な症状を引き起こします。特に、高齢者は成人に比べ、体内の水分量が少なく、体温調節や発汗機能も低下しているため、暑さや喉の渇きを感じにくくなったり、トイレを億劫がって行く回数を減らそうと水分を控えたりして熱中症になる方も少なくありません。

熱中症の予防として最も重要なことは、上手な水分補給です。喉が渇いたと感じた時は、既に水分が不足してきています。補給してすぐには吸収できないので、こまめにコップ半分から1杯程度（100～200ミリリットル）を飲むと良いです。汗をかきやすい運動時や入浴の前後、就寝前、起床時には必ず水分を摂りましょう。特に就寝前は、夜中トイレに起きるのが面倒で控える方もいますが、睡眠中には300～500ミリリットルの汗をかく上、水分が一切取れないので、その分の事前の補給が必要です。

次に飲み物の選び方です。こまめな水分補給としては、常温の水をお勧めします。しかし、多量に汗をかいた時に水ばかり飲むと体内の電解質の濃度が下がり、体液が薄まってしまいます。そうすると身体は電解質の濃度を戻そうと、余計に水分を排泄してしまい、それが熱中症の原因となります。電解質を補うものに麦茶やスポーツドリンクがあります。ただし、スポーツドリンクは糖分も多く含むので、一度にたくさん飲みすぎると血糖が急激に上昇してしまうので注意しましょう。市販されている「経口補水液」も、熱中症予防に効果的な飲み物です。

反対に避けるべき飲み物もあります。コーヒー、烏龍茶、緑茶などカフェインを含むものやアルコールです。これらには利尿作用があり、体内の水分が排泄されやすくなってしまうので、日常的に飲んでいる方は注意しましょう。

適切な水分補給で熱中症を予防し、暑い夏を乗り切りましょう。

簡単スポーツドリンク

栄養量（1人分当り）

エネルギー……5kcal
ビタミンC…2.5mg

レモンに含まれるクエン酸は、疲労回復にも効果的です。
こまめに飲めるように多めに作った場合は、冷蔵庫で保存し、早めに飲み切りましょう。

材料（1人分）

水……200cc
砂糖……大さじ1
レモン果汁……小さじ1
塩……ひとつまみ

作り方

材料を混ぜ合わせ、グラスに注ぐ。
（お好みでレモンの輪切りを入れたり、浮かべたりしても）

熊本地震に職員70名を派遣

４月14日（木）午後９時26分、16日（土）午前１時25分と２度にわたり最大震度７の地震に見舞われた熊本に職員を派遣しましたので、ご報告します。

発災直後から救護派遣要請に備え、救護チームを編成し、携行医薬品、救護活動資材の準備に取りかかりました。４月14日夜時点では被害が限定的であったため、九州地方の赤十字病院の相互協力で被災者の救護活動を行うことが決定されましたが、16日未明の本震後、DMAT（発災直後の災害急性期に活動する医療チーム）の派遣を皮切りに、赤十字常備救護班を５班派遣しました。また、震源地近くの熊本赤十字病院を支援するチームを７班、「こころのケア」活動を行う看護師、臨床心理士など総勢70名の職員を派遣しました。

現地では、被災者への診療のほか、避難所の感染症対策、避難所の医療ニーズ調査、巡回診療、こころのケアなど活動は多岐にわたりました。主に活動した南阿蘇地域では、阿蘇大橋の崩落や地元病院の閉院などにより継続的な医療支援が望まれ、地元のニーズに沿って他の支援団体、地元医師会や保健所、全国から参集した赤十字の救護班と連携した活動を行いました。

復興支援は、まだ始まったばかりです。被災された方々が１日も早く元の生活へ戻れること、近づけることを祈念するとともに、私たち赤十字の救護活動に今後もご理解・ご支援賜りますよう、お願いいたします。

『らくらく介護教室』のご案内 参加無料

楽に、楽しくお世話する方法を試してみませんか？

着替え、車イスへの乗せ方、オムツ交換など、家庭での介護に関する無料のミニ講習会です。

どなたでも気軽にご参加ください。

開催日時：火曜日・水曜日　10：30～11：30
場　　所：西館１階102会議室
講　　師：赤十字健康生活支援講習指導員（看護師）

※開催日は、７月１日現在の予定で掲載しています。
変更する場合は、院内各所にポスターを掲示します。
電話でのお問合せは、看護部（073-422-4171）まで。

July 7 2016　○開催日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

講習内容　高齢者に起こりやすい事故の予防と手当て

August 8 2016　○開催日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

講習内容　食事のお世話

September 9 2016　○開催日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

講習内容　とっさの時の手当て

医療連携ネットワークの登録医について

当センターは地域医療支援病院として、地域の病院や診療所・医院の先生方との連携協力を推進しています。

初期診療や普段の健康管理は「かかりつけ医」の先生方に担当いただき、専門的な検査や入院治療、手術などは当センターが担うことで、患者さんに適切な医療をスムーズに提供したいと考えています。

当センターでは、「かかりつけ医」である地域の先生方との連携を緊密にするため、「医療連携ネットワーク登録医制度」を設け、平成28年６月末現在632名の先生方に会員として登録いただいています。

登録医の先生方には額入りの『会員証』をお渡ししています。

また、当センター本館１階にも会員一覧表を掲示しています。

人間ドック

申込受付中

みなおしてみませんか　あなたや家族の健康を

お問い合わせ先
健診課
☎073-422-4171

1日ドック Aコース

36,720円（税込）

内科検診、尿、血液、心電図、肺機能検査、胸部X線、便、食道胃・十二指腸X線検査又は胃内視鏡検査、眼底検査　他

1日ドック Bコース

42,660円（税込）

Aコースに加えて、腹部超音波検査、HbA1c、聴力

2日ドック

72,360円（税込）

Bコースを基本に、腫瘍マーカー、梅毒反応、乳がん、子宮がん　他

脳ドック

61,560円（税込）

診察、頭部MRI・MRA、頸部血管超音波、心電図、動脈硬化測定、血液、尿　他

肺がんドック

28,080円（税込）

診察、胸部ヘリカルCT、喀痰細胞診、血液、腫瘍マーカー　他

生活習慣病予防健診

一般健診
（35歳～74歳）
7,038円（税込）

付加健診
（40歳・50歳のみ）
11,752円（税込）

※健康診断の結果、外来受診が必要な方は予約手続きをさせていただきますので、電話にてお問い合わせください。
※健診当日は、駐車場を無料でご利用いただけます。

オプション検査

血液関係	
男性用腫瘍マーカー（AFP、CEA、CA19-9、PSA）	4,968円
女性用腫瘍マーカー（AFP、CEA、CA19-9、CA125）	4,968円
肺がん腫瘍マーカー（シフラ、NSE、CEA）	3,672円
前立腺がん（PSA）	1,944円
甲状腺ホルモン（TSH、FT4）	4,687円
C型肝炎	3,780円
BNP検査(B型ナトリウム利尿ペプチド)	2,160円
ヘリコバクター・ピロリ菌検査	2,160円
放射線関係	
頭部MRI検査	28,944円
頭部CT検査	15,552円
胸部ヘリカルCT検査	15,552円
婦人科検診	
乳がん検診（視触診・マンモグラフィ検査をセットで実施します）	5,875円
乳房超音波検査（但し、この検査は乳がん検診の受診者のみが対象です）	3,780円
子宮がん検診(経膣超音波検査を含む)	5,400円
HPV検査（但し、この検査は子宮がん検診の受診者のみが対象です）	4,860円
その他	
骨密度	3,240円
腹部超音波検査	5,940円
睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)（但し、この検査は二日ドックの受診者のみが対象です）	7,776円

Wi-Fi環境を整備しました

平成28年４月、和歌山県Wi-Fi環境整備補助金事業により、当センター本館１階玄関ホール、救急外来室待ち合い、西館１階ラウンジ、南館１階ラウンジの４ヵ所(図)に無料で使用できるWi-Fi環境が整備されました。スマートフォンなどの端末から「WAKAYAMA_FREE_Wi-Fi」を選択し、メールアドレス登録による認証手続きで使用できます。１回15分、１日16回まで接続可能です。

詳しい接続方法については、玄関ホール総合案内にご利用方法リーフレットを備えていますので、お問い合わせください。

個室のご案内

南館の個室（トイレ付）

本館11階の特別室B

本館11階の特別室A（和室付）

当センターでは、本館、南館の各病棟に個室をご用意しています。より静かで快適な空間で療養できます。トイレやシャワーユニットの付いたタイプですと、周りを気にせず、好きな時間にアメニティをお使いいただけます。

お部屋タイプや料金については、各病棟スタッフステーションや入院受付で写真付きの案内をご覧いただけます。

気軽にお問合せください。

本館の個室

患者図書室のご案内

利用日時：平日９時～５時（但し、第３木曜日は２時まで）

蔵書内容：医学・医療関連図書、児童書、DVDなど約1600冊。がん関連のパンフレット等もあります。

当センターは、敷地内禁煙です。

健康を守り、健康増進を図る病院の社会的使命から、駐車場（駐輪場）を含む敷地内の全面禁煙を実施しています。ご理解・ご協力をお願いします。

診療科別外来診察表

※区分【Ａ：紹介予約初診　Ｂ：当日初診　Ｃ：予約再診　Ｄ：当日再診】※赤字は女性医師

平成28年7月1日現在

診療科	区分	月	火	水	木	金	備考
循環器内科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	田村	豊福	花澤	北田	田中	
		—	—	—	—	—	
	Ｃ Ｄ	高橋	北田	田村	髙	湯月	
		—	田中	湯月	豊福	—	
		—	大井（午後のみ）	和田	鄒	—	
消化器内科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	☆山下	上野山	瀬田	☆山下	上野山	☆:初診は紹介患者のみ
		浦井	赤松	幡丸	浦井	赤松	
		瀬田	中谷	益田	中谷	幡丸	
		池ノ内	岩上	梅村	林	岩上	
		石井	東	—	中井	松本	
糖尿病・内分泌内科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	廣畠	井上	岩橋	廣畠	岩橋	
	Ｂ Ｃ Ｄ	井上	廣畠	井上	伊藤	井上	
		古宮	伊藤	南野	益田	南野	
血液内科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	★1田嶌	☆1直川	岡	田嶌	☆1直川	☆1:ACDのみ ☆2:CDのみ
		☆2岡	武内	—	☆2白神	白神	（月曜初診） ★1　第1・3・5週 ★2　第2・4週
	Ａ Ｂ	★2白神	—	—	—	—	
外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	米永	宇山	一宮	宇山	伊東	
		—	—	横山	山下	—	
	Ｂ Ｃ Ｄ	上野	東出	—	益田	上村	
		—	細川	宮本	—	野間	
乳腺外科	Ａ	☆芳林	—	☆芳林	—	☆芳林	☆:初診は紹介患者のみ
		畑／中木村	—	—	—	畑／中木村	
小児外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	—	★1横山	横山	★1横山	—	★1　午後のみ
眼科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	荻野	☆大谷	★1荻野（午前のみ）	☆大谷	荻野	☆:紹介患者のみ ★1　Dを除く ★2　Cのみ
		黒田	黒田（午前のみ）	★1田中	田中（午前のみ）	黒田	
		—	田中	—	—	田中（午前のみ）	
	Ｂ Ｃ Ｄ	三木（午前のみ）	藤﨑	—	三木	—	
		★2藤﨑（午後のみ）	—	—	藤﨑	—	
耳鼻咽喉科	Ａ Ｂ	三浦	山田／暁	三浦	（交替制）	本多	
	Ｄ	池田	木村	本多	—	林	
		山田	—	暁	—	谷上	
		—	—	—	—	中平	
第一・第二産婦人科	Ａ Ｂ	中村	★1横山信 ★2神崎	★1稲田 ★2家村	★1山村 ★2坂田	吉田	★1　第1・3・5週 ★2　第2・4週
	Ｃ Ｄ（婦人科）	吉田	稲田	中村	家村	山村	
		安田（午後のみ）	—	横山信・日野（午後のみ）	—	神崎（午後のみ）	
	Ｃ Ｄ（産科）	家村	山村	吉田	稲田	横山信	
		豊福／坂田（午後のみ）	横山鈴（午後のみ）	神崎（午後のみ）	豊福（午後のみ）	安田（午後のみ）	
小児科	（午前）Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	濱畑	吉田	原	濱畑	吉田	
		横山	深尾	横山	古宮	深尾	
		—	—	古宮	—	—	
第一・第二泌尿器科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	★1金岡	金岡	金岡	玉置	金岡	★1　Aのみ・11時まで
		玉置	玉置	山田	上山	藤川	
		藤川	上山	宗宮	山田	宗宮	
腎臓内科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	内川	東	大伴	東	大棟	第一火曜日　ＡＢＣＤ 中田医師の診察あり
		前沢	嘉藤	杉谷	前沢	—	
		（交替制）	（交替制）	（交替制）	（交替制）	（交替制）	
皮膚科	Ａ	（交替制）	濱本	（交替制）	北山	辻岡	
	Ｂ Ｃ Ｄ	辻岡	濱本	北山	北山	辻岡（Bのみ）	
		北山	—	濱本	—	—	
	Ｃ Ｄ	—	辻岡	—	辻岡	奥村	
整形外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	百名	田中	百名	玉置	田中	
		玉置	川井	打越	打越	川井	
		光澤	—	土井	—	光澤	
		土井	—	—	—	—	
	Ｂ Ｃ Ｄ	—	梅本	—	小椋	—	
歯科口腔外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	千賀	上原	★1佐武	★1清水	—	★1　Aを除く ※金曜日のBは交替制
	Ａ Ｃ Ｄ	—	佐武	上原	上原	千賀	
		—	清水	清水	佐武	佐武	
	Ｃ Ｄ	佐武	千賀	千賀	千賀	清水	
		—	—	—	—	上原	

診療科	区分	月	火	水	木	金	備考
放射線治療科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	筒井	竹花	筒井	井口	筒井	
		井口	—	河村	—	竹花	
脳神経外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	津浦	—	—	—	—	
	Ａ Ｂ Ｄ	—	田中	（交替制）	津浦	—	
	Ｂ Ｄ	—	—	—	—	（交替制）	
	Ｃ	吉村	津浦	—	田中	—	
		辻	山中	—	宮武	—	
		—	（交替制）	—	土岐	—	
麻酔科	Ａ Ｃ Ｄ	吉村	吉村	—	—	中田	
呼吸器内科	Ａ Ｂ	杉田	堀川	深尾	池上	寺下	
		大井	—	—	—	野口	
	Ｃ Ｄ	池上	杉田	寺下	堀川	深尾	
		—	—	大井	野口	—	
心臓血管外科	Ａ Ｃ Ｄ	小西	—	—	—	—	
	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	岩倉	—	岩倉	—	—	★1　Cのみ
	Ｃ Ｄ	★1堀	—	堀	—	—	
リハビリテーション科	Ｃ	田中康	※1田中禎	川井	※1宮武	玉置	※1：脳卒中
神経内科	Ａ Ｃ Ｄ	川村	★1川村（午前のみ）	石川	川村	石川	★1　ACのみ ★2　隔週交替制
		坂本	齊藤	小芝	松本	★2　島 ★2　伏屋	
精神科	Ａ Ｃ	東	東	—	東	★1東	★1　Aを除く
形成外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	井上	奥村	井上	担当医	★1奥村	★1　Aを除く
呼吸器外科	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	—	住友	石川	—	住友	
	Ｂ Ｃ Ｄ	—	今村	西田	—	峯浦	
心療内科	Ａ Ｃ	西田	—	—	西田	西田	
	Ｃ	—	西田	西田	—	—	
リウマチ科（膠原病）	Ａ Ｃ	★1秋月	—	中島	—	東	★1　第1・2・4週
		—	—	石郷岡	—	—	
漢方内科	Ａ Ｃ	—	—	山田	—	上松（午後のみ）	
感染症内科	Ａ Ｃ Ｄ	久保	古宮	大津	久保	古宮	
神経救急部	Ａ Ｂ Ｃ Ｄ	—	中	—	中	—	

各種専門外来一覧

診療科	専門外来名	診察曜日	備考
循環器内科	ペースメーカー外来	月	予約制
糖尿病・内分泌内科	糖尿病透析予防外来	火・水・木	予約制
血液内科	移植後フォローアップ外来	火	予約制
外科	ストマ外来	毎日	予約制
乳腺外科	石灰化外来	木	予約制・午前中
	地域連携パス外来	月・水・金	予約制・午前中
	乳がん高度診断治療外来	月・木・金	予約制
	乳腺診断・術後経過外来	月・木・金	予約制
眼科	斜視弱視外来	水	一部予約制
耳鼻咽喉科	副鼻腔・アレルギー外来	月	予約制・午後～
	補聴器外来	金	予約制・午後～
	音声外来	月	予約制
第一・第二産婦人科	不妊外来	毎日	
	中高年医療相談	月・水・金	
	ローリスク妊婦外来	毎日	予約制・午後～
	二週間健診・母乳外来	毎日	予約制・午前中
	妊娠と薬外来	金	予約制・午前10時～12時
	周産期遺伝外来	水・金	予約制・午後2時～
小児科	アレルギー外来	月・水・木	予約制・午後～
	未熟児外来	月・木・金	予約制・午後～
	血液悪性腫瘍外来	火	予約制・午後～
	神経外来	火	予約制・午後～
	発育異常外来	水	予約制
	腎臓外来	水	予約制・午後～
	心臓外来	火・水・木	予約制・午後～
	予防接種外来	水・木	予約制・午後1時～3時
	発達外来	木	予約制・午後～
	内分泌・代謝外来	第1金	予約制・午後～
	免疫・アレルギー外来	火	予約制・午後～
	1カ月健診	金	予約制・午後～
第一・第二泌尿器科	性機能障害外来	水	予約制・午後3時～
	間質性膀胱炎外来	火	予約制・午後3時～
腎臓内科	CAPD外来	第1・3火曜　第2・4木曜	予約制
	腎移植外来	月・金	予約制
	療法選択外来	毎日	完全予約制
整形外科	脊椎外来	月・水・木	
	上肢外来	月・火・金	
	股関節・人工股関節外来	月・火・水・金	
歯科口腔外科	顎関節症外来	火・水・木	予約制・午後～
	インプラント外来	火・木	予約制・午後～
脳神経外科	水頭症外来	木	予約制・午後～
麻酔科	ペイン外来	月・火・金	
呼吸器内科	禁煙外来	火	予約制
	睡眠時無呼吸外来	火・水	予約制・初診(火)　再診(水)
神経内科	ボツリヌス外来	火・水	完全予約制・(火)午後4時～(水)午後3時～
心療内科	がんサポート外来	木	予約制・午後～
感染症内科	トラベルクリニック	月・木	予約制

★専門外来に関することは、各診療科にお問い合せ下さい。

※　診療時間　：　午前9時～午後5時30分

※　初診及び再診（予約外）受付時間　：　午前8時～午前11時30分
（午前11時まで）産婦人科（火・木曜日）・耳鼻咽喉科・神経内科の初再診、麻酔科の初診
（午後　3時まで）小児外科の初診・再診

※　休診日　：　土曜、日曜、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）、創立記念日（5月1日）

〒640-8558 和歌山市小松原通四丁目20番地　TEL(073)-422-4171　FAX(073)-426-1168

日本赤十字社和歌山医療センター